



# 令和元年度 第2回まなびあいサロン

9月17日（火）の、第2回まなびあいサロンには、みみちゃん教室や幼稚部の保護者の皆さんなど、14名が参加してくださいました。

テーマ：『日常生活でのかかわり方と手話について』

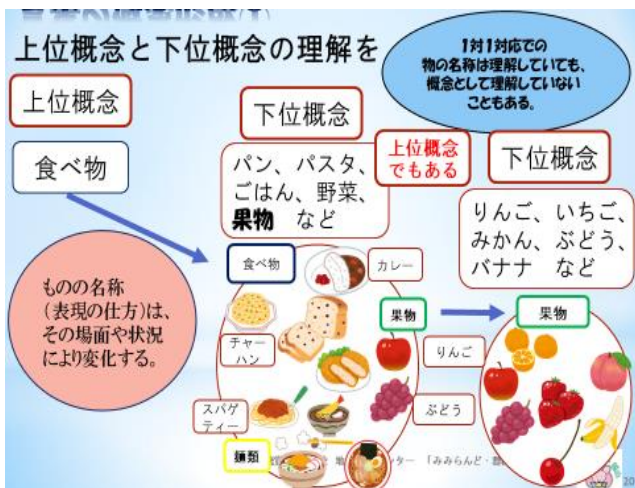
講師：地域支援センター 秋元 昭江



## 日常生活でのかかわり方

- ①日常生活の中の物や事象について、意識して言葉で表現する。
- ②同じ物を表現する際にいろいろな言葉で表現する。
- ③言葉の概念やイメージを育てるために、生活経験を言葉で表現する。
- ④現在、過去、未来を意識した文の表現をする。

いつもの生活の中で、「洗濯をするよ。」「ご飯の支度をするよ。」「お風呂掃除をするよ。」と声掛けをして始めると、その行動と言葉が結びついてきます。



## 手話について

- ・手話は言語であり、表現するそのものの特徴を表す表現も多く言葉の理解につながりやすい言語。
- ・手話表現の際は、口形も同時に表現することで日本語の読み書き理解につながる。
- ・絵本の絵や文を手話表現することで言葉の理解や心情の読み取る力が育つ。
- ・手話でやりとりした経験を絵日記に表現することで言語力が育つ。

## ☆まとめ☆

- ・普段の生活から、普段していることをあえて言葉にして声をかけていくことで、子どもの聴く力が育ち、内言語として積み重なり、言語力につながる。口形をはっきり、日本語のリズムを意識しながら音声や手話で表現することが大切。

## ～参加者の感想～

- ☆経験が大切なんだということがよく分かりました。概念と観念の話ではあらためて考えると、聴者は無意識に理解できていることも、難聴者には難しかったりするのだなと思いました。
- ☆日々のかかわりと経験が大切なのだと思いました。
- ☆これからの学習のすすめ方のヒントになりました。日本語を身につけるためにいろいろやっっていこうと思いました。